

町長と活発に 意見交換



町長の講話に熱心に聞き入る参加者

女性団体リーダー研修会

合併後初の町長と語る会

地域の子育て支援を考える

11月18日(土)、19日(日)

また翌日は、大山西小学校の

の2日間にわたって、大山青年の家で町教育委員会主催の女性団体リーダー研修会が開かれました。中山、名和、大山各地区の女性団体から40人が参加しました。

國頭徹夫校長から「社会の変化と地域の中の子育て」をテーマに講演を聞きました。

講演後のワークショップでは、4班に分かれて「地域の子育て支援のあり方」について考えました。身の回りの現状の課題と対策を掘り起こしながら、子どもたちの望ましいと思う姿を「願い」としてまとめ、発表し合いました。

まず初日は「女性団体の活動に期待すること」と題し、山口町長がまちづくりについての構想や思いを語りました。またその後の町長と語る交流の場では、合併後初めて町長と直接意見交換ができる機会とあって、参加者から様々な意見が寄せられました。意見の内容は、公共施設の利用基準を公平化すること、高齢者に戸外に出てもらおう事業を推進してほしいなどの要望や、課題などでした。

少子化の中、子どものある家庭だけの問題でなく、「子ども」を社会全体の中の「宝」としてとらえること。また、大人のわたしたちが、いろいろな場面での関わり合いの中で、子どもが自分のことが自分ででき、自分のことを決められるよう見守ること。自然や命とのふれあいなどをはじめ、多くの体験を通して、大切なことを感じる機会を作ることなどが話し合われました。

町長もその熱心さに真摯に応答し、「新しいまちづくりは町民が主役、みなさん一人ひとりの力を合わせ輝く大山町にしましょう」と結びました。

た。